


 日本生殖看護学会ニュースレター

Japanese Society of Fertility Nursing (JSFN)


 No.57

## ● ● ● 目 次 ● ● ●

研究結果を不妊や生殖における悩みをもつ人や支える人たちの力に	1
特集 Withコロナ時代の妊活当事者の気持ち	2
2020（令和2）年 日本生殖看護学会 総会報告	3
2020年度 収支予算書（案）	4
生殖看護教育研修会・ポストコースの案内	5
これから行われる学術集会・研修会情報	6
2020年 生殖看護関西地区実践セミナー開催のお知らせ	7
地区実践セミナー開催の助成	7
理事会報告	7
事務局からのお知らせ	8
編集後記	8



## 研究結果を不妊や生殖における悩みをもつ人や支える人たちの力に

愛媛大学 崎山貴代

日本生殖看護学会の前身である日本不妊看護学会が設立されてから、17巻の学会誌が発行され、公表された論文は68本になります。長く編集作業にかかわりましたが、投稿いただいた全ての方により情報を伝えられず、不快な思いをさせてしまったことがあったかもしれません。

私自身が取り組んできた研究は、病院に勤務していた時に感じた『不妊治療を受けて妊娠した女性の悩みや不安はどのようなもので、どうすれば軽減されるか』という疑問に始まります。この疑問を形にするには、様々な文献を読み、計画書として形にすること、そして、周囲にこの研究がなぜ必要であるかを説明する力とやり通す覚悟が必要であったと思います。調査を始めてもこの研究は意味があるのかと自問する日は続き、インタビュー調査を行う時には、自分の中にある研究者と実践者との適切な距離の保たせ方について考えることもありました。そして、根拠やニーズに見合った目的、方法を成すことが適切な結果を見出すと学びました。

また、論文を作成し投稿しても、アクセプトされずに査読結果から逃げたい思いに駆られることもありました。しかし、落ち着いて考えてみると、査読者が言うことにも一理あり、その問いかけは根拠を示す力の弱さを省察する機会であったと思います。査読は研究指導ではなく、手をとり導いてくれるものではありません。相手の問いかけの真意を探る思考力や時間を必要とします。煮詰まる時は時間や距離を置き、他者の助言を得ることも必要です。

現在、診療所で不妊相談を担当する機会をいただいておりますが、『研究結果を実践に活かす』場面に出会う時こそ、本当の意味で研究の意味を感じる瞬間です。また、『研究結果を伝える』という意味では、未来を担う学生に伝える機会、また、講師として助産師や保健師に伝える機会は、研究でとりあげた現象やケアの必要性を認識していただき、特に後者の場合は、治療から妊娠・出産、育児へ切れ目のないケアにつなげる機会であると感じています。そういう意味でも、学会などで役割や価値観を違える人と共有、議論することは

大切です。

現在、政治の動きから不妊治療が注目されています。不妊治療における助成金の拡大や保険診療の適用は不妊に悩むカップルの経済負担を軽減すると思いますが、同時に不妊治療の選択や終結の意思決定などに対応する様々な環境の整備が必要となるでしょう。私たちが看護職としてケアの必要性や効果を社会に伝える方法の一つが研究結果の発信であり、これは個別性を大切にするケアと同じくらい大切なことだと思っています。全ての会員が看護師、助産師、専門・認定など資格の有無や、病院や学校などの職種や職位の違いなどに関係なく、生殖にかかわる問題解決や健康増進に貢献し、共有する気持ちをもつことが大切です。どの人にも研究を公表する機会が得られるよう、編集委員として公平な目を持ち、質の高い論文の完成に向けてサポートしたいと思っています。このことが次世代の査読者の育成にもつながってくると考えています。



## With コロナ時代の妊活当事者の気持ち ～ 「with コロナ時代の妊活中の不安に関するアンケート」 結果から～

NPO 法人 Fine 理事長 松本亜樹子

NPO 法人 Fine は、現在・過去・未来の不妊体験者を支援する当事者団体です。この度掲題のアンケートを実施し、499名から回答を得ました。その結果から、当事者の様々な不安が浮かび上がってきましたので、当事者の最も近くで寄り添ってくださる不妊症看護認定看護師の皆様にも、ぜひこの結果を知っていただきたく、ご報告させていただきます。

このアンケートにつきましてはプレスリリース（\*1）を発行し、サマリーは下記の4点です。

- < 1 > 「不妊治療の延期」の検討を促す声明には、不安のみならず、悲しみや怒りを感じた。
- < 2 > 「緊急事態宣言」が初めて出された時、それでも治療を続けたいと思った。
- < 3 > 「緊急事態宣言」の発令中、年齢が上がることへの焦りを感じた。
- < 4 > 「緊急事態宣言」が解除された時、第2波が来る前に早く治療をしたいと思った。

それぞれのサマリーの詳細についてはプレスリリースをご覧くださいので、ここではリリース掲載以外の当事者の声をご紹介します。

4月1日の日本生殖医学会の声明文発表後には「仕方ない」としながらも「厚生労働省は、自然妊娠しないように控えるような声明をだしていなかったし、妊婦に対しての配慮はあったのに、なぜ不妊治療だけが延期の対象になるのか、疑問に思った。」や「その声明を元に、私が通っていたクリニックでは強制的に治療が中止され、自分の治療のことなのに自分で決めさせてくれない医師に対して不信感と憤りが募った。」など、やるせない思いを抱える当事者も多数見られました。また、「これで治療を中断する決心がついた」と、もともと治療の継続に迷いがあった方の中には、これをきっかけとして治療をやめたという声も散見されました。

しかし、「一日も早く子どもを授かりたい」「治療は延期したくない」という方のほうが大多数で、自粛中であっても「延期にならなくて済んだ」「希望通り治療できた」と答えており、その際の医療機関の対応については「十分35.4%」「ほぼ十分33.4%」と高い納得度が見られました。

緊急事態宣言解除後の治療再開については、「ほっとした」としながらも「通院中に感染リスクがあるので心配」「病院の感染対策が不十分に思えて気になる」「妊娠できても、妊娠中に感染したら赤ちゃんに影響が出てしまうのでは」などという不安の声も多くみられます。当事者はこれまで以上に不安を抱えながら、それでも我が子をこの手に抱ける日を願って治療を行っています。これからも引き続き、当事者を支えていただけますよう、お願いいたします。

また、私ども Fine では、こうした当事者同士の交流や情報交換を目的として「Fine 祭り」を今年はオンラインで11月29日に実施いたします（\*2）。毎年不妊症看護認定看護師さんにもご協力をいただき、個別相談も実施させていただいています。おかげさまで相談は毎年大好評で申し込みには長蛇の列ができ「お話しを聞いて良かった」と喜びの声を頂きます。もし「クリニックにチラシを置いてほしい」という方がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡いただけたらありがたいです。

(\*1) [https://j-fine.jp/prs/prs/fineprs\\_with\\_corona\\_anketo2020.pdf](https://j-fine.jp/prs/prs/fineprs_with_corona_anketo2020.pdf)

(\*2) <https://j-fine.jp/matsuri/2020/matsuri.html>

## 2020（令和2）年 日本生殖看護学会 総会報告

日時：2020（令和2）年9月

会場：書面による

出席者：会場出席者170通、委任状25通

（本学会則18条 学会員371名の10分の1以上の出席確認により総会成立）

賛成数 145通（審議事項1、2、3すべて賛成）反対および意見等はなし

### 【報告事項】

#### 1. 理事会報告（上澤理事長）

令和元年度に開催された3回の理事会および2回の臨時理事会の報告・審議事項の概要

#### 2. 総務（事務局）報告（森理事）

令和2年8月31日現在、会員数357名

会員管理、関連団体・機関への対応、学会ホームページの運営と管理を行った。

#### 3. 事業報告（令和元年9月1日～令和2年8月31日）

##### 1) 将来構想の検討報告（上澤理事長）

検討事項として4つの短期目標を挙げ研究、検討に取り組んだ。

##### 2) 常任委員会

###### (1) 実践開発委員会（村上理事）

NPO法人Fine主催「Fine祭り2019」に不妊相談員として、本学会員の不妊症看護認定看護師を派遣した。生殖看護地区実践セミナーに協力した。

不妊症看護認定看護師メーリングリストを運営した。

###### (2) 教育推進委員会（柴田理事）

関西地区・西日本地区の勉強会および実践セミナーの開催を支援した。

第14回生殖看護実践セミナーの企画・運営を行った。

各地区勉強会の支援および助成のお知らせをHP・NLに掲載、関西地区勉強会に助成金を交付した。

###### (3) 広報委員会（實崎理事）

NL54～56号を企画・編集および発行し、関連学会・関連省庁を含めて380部発送した。

1年経過したNLをHPに掲載した。

COVID-19の感染拡大に伴い学会案内リーフレットの配布のPR活動を見合わせた。

###### (4) 編集委員会（崎山理事、坂上理事）

学会誌第17巻第1号を編集し発行した。

専任査読委員の依頼（期間：2年）を行った。

学会誌の電子化および学会誌作成の業者委託について検討した。

###### (5) 将来検討委員会（野澤副理事長）

国内外の情報収集と発信、研究助成の運営・管理を行った。

研究助成応募期間を延長したが、応募数0件であった。

東京・関西・九州ブロックにおいて研究支援相談会を実施した。

##### 3) 特別委員会

###### (1) 看保連対応ワーキング（森理事）

COVID-19流行のため、診療・介護報酬あり方検討委員会、三保連シンポジウムは延期・中止となり参加できなかった。

看保連社員総会は書面決議の形で参加した。

医系関連他学会との情報交換を行い、2020年度診療報酬改定に向け、「不妊治療指導管理料（仮）」（新設）要望書を提出した。エビデンスとなる調査結果の論文化途中である。

###### (2) 健やか親子21（第2次）ワーキング（野澤副理事長）

健やか親子21サロンに出席し、健康寿命を延ばそうアワード表彰、子育て世代包括支援センターでの支援の実際について報告を受けた。

#### 4. 令和元年研究助成審査結果（上澤理事長）

研究助成申請者なし

#### 5. 第18回学術集会について（上澤理事長）

COVID-19流行のため、中止となった。

### 【審議事項】

#### 1. 令和元年度収支決算ならびに会計監査（清水理事、中村理事、村本監事、森監事）

理事より令和元年度の一般会計及び特別会計の収支決算（案）を報告した。

監事より令和元年度収支決算に関して、監査を執行した結果、適切であったことを報告した。

\*書面により承認

#### 2. 令和2年度事業計画案（上澤理事長）

##### 1) 学会の将来構想の検討：将来構想をふまえた短期目標2点を提示

短期目標1：生殖看護を定義し概念化し、生殖看護のコンピテンシーを明確にする。

短期目標2：学会活動を見直し、会員の満足が高まるような活動充実をはかる。

##### 2) 総務（事務局）

個人情報保護法に基づいた会員管理とHPの運営・管理の実施

関連団体・機関への会議出席や学会としての意見提出の実施と拡大

##### 3) 常任委員会

###### (1) 実践開発委員会

相談員派遣業務、CNメーリングリスト運営による情報配信

###### (2) 教育推進委員会

生殖看護地区実践セミナーの企画・審査、ポストコース開催に向けた企画・準備

###### (3) 広報委員会

NLの企画・編集および発行、関連学会等でのPR活動

###### (4) 編集委員会

投稿原稿の受付・査読依頼・採否決定、専任査読委員の依頼

学会誌の電子化、学会誌作成の業者委託について継続検討

日本生殖看護学会誌第18巻第1号の発行に向けたタイムスケジュール

###### (5) 将来検討委員会

研究助成関連の運営・管理および活用方法の検討ケアの質向上に向けた、研究促進活動および具体的な取り組み検討

国内外の情報収集と発信

#### 4) 特別委員会

##### (1) 看保連ワーキンググループ

看保連の総会、臨時総会、委員会等に出席

不妊治療管理指導料の診療報酬点数化に結びつくエビデンス構築の推進

##### (2) 健やか親子21（第2次）ワーキング

健やか親子21推進協議会第4グループ委員会に参加し、国民運動における当学会ならではの役割を遂行

\*書面により承認

#### 3. 令和2年度収支予算案（清水理事）

\*書面により承認

## 2020年度 収支予算書

(2020年9月1日から2021年8月31日まで)

日本生殖看護学会

### 一般会計

収入の部

(単位：円)

大科目	小科目	予算額	備考
会費収入	年会費	2,580,000	320名×8000円(会員) 2名×10,000円(賛助会員)
Web セミナー収入	参加費	910,000	150名×5,000円(会員) 20名×8000円(非会員)
繰越金	前年度繰越金	8,396,267	
総収入合計 (A)		11,886,267	

支出の部

科目	小科目	予算額	備考
会議費	理事会会議費	270,000	
	総会費	80,000	2021年度総会資料・返信ハガキ郵送
事業費	広報委員会	300,000	ニューズレター3回の発行
	教育推進委員会	1,000,000	Web セミナー開催
	実践開発委員会	50,000	Fine 祭り相談員 web 派遣
	編集委員会	400,000	第18巻1号 学会誌発行
	将来検討委員会	30,000	研究支援相談会
	学術集会準備費	500,000	第19回学術集会 web 開催
事務費	人件費	320,000	アルバイト(PC入力・HP管理)
	通信費	80,000	
	備品費	300,000	事務局パソコンおよび Office ソフト
	消耗品費	100,000	
団体登録料	日本看護系学会協議会	80,000	
	看護系学会等社会保険連合	70,000	
	日本カウンセリング学会	10,000	
活動費	ワーキンググループ活動	50,000	看保連・すこやか親子21
支出合計		3,640,000	
予備費等		8,246,267	
総支出合計 (B)		11,886,267	

### 特別会計：研究助成金積立金

(単位：円)

小科目	予算額	備考
2020年度積立金	0	
2020年度助成金	0	助成なし
前年度までの積立金	938,128	
合計 (A)	938,128	



**第18回学術集会が中止となりましたが、オンデマンド方式での生殖看護教育研修会を開催します。ぜひ会員の皆様、非会員の皆様にもお声をかけていただきご参加ください！**

**(教育推進委員会)**

## 2020年度 生殖看護教育研修会のご案内 (兼 不妊症看護認定看護師ポストコース)

**【テーマ】** 生殖看護において治療への選択肢を支える看護の力

オンデマンド配信 2021年2月27日(土)～3月7日(日)(配信期間9日間)

ライブ配信 2021年2月28日(日) 14:00～14:45

**【プログラム】**

### 1) オンデマンド配信

(1) 現代社会において求められる生殖看護の実践力(90分) CLoCMiP 研修可

講演1 「生殖看護に関わる看護師に求められるコンピテンシー」

野澤美江子先生 (東京工科大学 医療保健学部 看護学科 教授)

講演2 「生殖医療における遺伝学的検査のこれからと看護職に求めること」

澤井 英明先生 (兵庫医科大学病院 教授 遺伝子医療部 部長)

(2) 患者の選択肢を支える生殖看護 (60分) CLoCMiP 研修可

講演3 「臨床現場での多様な価値観を支え、治療を選択する支援への一考察」

奥島 美香先生 (社会医療法人生長会 府中のぞみクリニック)

講演4 「生殖医療を受ける患者の意識変化 - 様々な選択肢は彼らに何をもたらしたのか -」

竹田 恵子先生 (大阪大学 人間科学研究科招聘研究員)

### 2) ライブ配信

(1) 不妊症看護認定看護師 情報交換会 (CNのみ) (45分)

**【参加費】**

会員 5,000円 非会員 8,000円

**【申し込み】**

準備ができ次第、日本生殖看護学会ホームページでご案内します。

## これから行われる学術集会・研修会情報 (2020年11月～2021年2月)

月	日	学会・研修会名	会 場	学会 HP / 運営事務局
11月	21日 ～ 22日	日本女性医学学会学術集会 (第35回) 「女性医学と生き方改革」	都市センターホテル (東京都千代田区)	<a href="http://jmwh35.umin.jp/outline.html">http://jmwh35.umin.jp/outline.html</a>  運営事務局 〒102-0083 東京都千代田区麹町4-7 麹町パークサイドビル402 株式会社 MA コンベンションコン サルティング内 TEL : 03-5275-1191 (代表) FAX : 03-5275-1192
12月	・オンデマンド配信: 2020年12月1日～25日 ・ZOOM・LIVE 配信: 2020年 12月12日(土)9時～ 12月13日(日)夕方	日本看護科学学会学術集会 (第40回) The 40th Annual Conference of Japan Academy of Nursing Science 「看護科学の Implementation」		<a href="https://site2.convention.co.jp/jans40/info/">https://site2.convention.co.jp/ jans40/info/</a>  運営事務局 日本コンベンションサービス株式会社 〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1丁目4-2 大同生命霞が関ビル14階 TEL : 03-3508-1214 FAX : 03-3508-1302 E-mail : jans40@convention.co.jp
	3日 ～ 4日	日本生殖医学会学術講演会 (第65回) 「生殖医療の明日に架ける橋」 Web 開催	京王プラザホテル (東京都新宿区)	<a href="http://www.congre.co.jp/jsrm65/index.html">http://www.congre.co.jp/jsrm65/ index.html</a>  運営事務局 〒103-8276 東京都中央区日本橋 3-10-5 オンワードパークビルディング TEL : 03-3510-3701 FAX : 03-3510-3702 E-mail : jsrm65@congre.co.jp
2月	13日 ～ 14日	日本がん・生殖医療学会学術集会 (第11回) 「多様化するがん・生殖医療を 支えるために」	ウインクあいち (愛知県名古屋市)	<a href="http://www.j-sfp.org/about/meeting.html">http://www.j-sfp.org/about/ meeting.html</a>  【運営事務局】 株式会社ヒューマン リプロ・K 〒226-0003 横浜市緑区鴨居6丁目 19-20 TEL : 045-620-7560

## 2020年 生殖看護関西地区実践セミナー開催のお知らせ

【日時】2020年11月8日（日）13：30～16：40

【場所】新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン開催（Zoom 利用）

【テーマ】現代ライフスタイルと男性不妊

【内容】講師 湯村 寧先生

横浜市立大学附属市民総合医療センター副病院長

生殖医療センター泌尿器科部長

【参加費】会員 無料 非会員 500円

定員 50名（先着順）

【申込方法】

URL より申し込みフォームでお申し込み

URL：https://forms.gle/uRSLt1acZ5acqWjU8

2020年10月31日（土）までに申し込みください。

### 地区実践セミナー開催の助成

- 1) 地区実践セミナー開催には、学会の助成金を利用することができます。現在、関東地区、関西地区、西日本地区の3か所がありますが、これから地区で実践セミナーを企画される方はご相談ください。  
相談先：jsfn.edu@gmail.com
- 2) 2020年11月8日（日）開催の生殖看護関西地区実践セミナーに助成しました。

### 理事会報告

#### 第1回臨時（書面）理事会

日時：2020年4月30日（木）

場所：書面による

##### 【審議事項】

1. 第18日本生殖看護学会学術集会について：新型コロナウイルス感染拡大により全会一致で2021年に延期することを決定
2. 入会審査：3名の入会を承認

#### 第2回臨時（Web）理事会

日時：2020年5月20日（水）17：30～19：00

方法：web会議（Microsoft Teams）

出席者：上澤、野澤、森明、實崎、村上、崎山、清水、中村、柴田、森恵、村本、朝澤（書記）

欠席者：坂上（敬称略）

##### 【報告事項】

- 1) 第18回学術集会中止の決定までの詳細経緯
- 2) 第18回学術集会準備にともなう収支報告

##### 【審議事項】

- 1) 第18回学術集会準備にともなう赤字費用の補填方法
- 2) 第19回学術集会長の再推薦および開催方法（web開催で行う方針）
- 3) 会員への還元方法について
- 4) 今年度総会の開催方法について

#### 第3回 Web 理事会

日時：2020年8月11日（火）18：00～20：30

方法：web会議（Microsoft Teams）

出席者：上澤、野澤、坂上、崎山、實崎、柴田、清水、中村、森明、森恵、村本、朝澤（書記）

欠席者：村上（敬称略）

##### 【報告事項】

- 1) 広報委員会：活動計画、ニュースレター No.57発行計画
- 2) 教育推進委員会：生殖看護地区実践セミナーの企画、ポストコースの企画予定
- 3) 編集委員会：日本生殖看護学会誌第17巻発行に関して、2論文の採択
- 4) 将来検討委員会、健やか親子WG：研究助成申請状況、個別相談会開催状況
- 5) 総務：定例報告、事務局移転について、会員数、事務局運営
- 6) 会計：2019（令和元）年度決算について、2019年度収支決算書（案）
- 7) その他：看保連社員総会の2020年度看保連社員総会議事、JANA 社員総会に関して政府への提言

##### 【審議事項】

- 1) 第19回学術集会長の推薦
- 2) 会員への還元としての教育セミナー（web）の開催と予算
- 3) 入会審査：2名の入会を承認
- 4) 総会の方法について
- 5) 2019（令和元）年度決算案および2020（令和2）年度予算案

## 研究論文を学会誌に投稿してみませんか？ ～質の高い看護を看護職と共有するために～

皆様が行った研究や実践を論文として形にすることは、生殖看護に携わる看護者に知識を与え、広く活用されることにより看護の質の向上に寄与します。そして、研究に協力してくださった方々に感謝の気持ちを示すことになります。

査読が厳しいのでは…と思われるかもしれませんが、それは査読が研究指導とは異なる側面をもつためです。査読者の助言を受けることは質の高い論文を作成するために不可欠な過程であり、投稿者にとって、論文内容を多角的に深めることのできるチャンスです。

互いの看護実践能力を向上させるために、論文投稿にチャレンジしてみませんか？

学会誌（第18巻第1号）への投稿締め切りは、**2020年11月20日（金）必着**です。

\*詳細は、学会誌や学会 HP に掲載する「論文投稿規定」をご確認ください。

### 事務局からのお知らせ

1. 第19回学術集会、編集委員会への問合せは、それぞれの事務局に直接お願いいたします。
2. 日本生殖看護学会への問い合わせ、会員に伝えたい情報、HP、ニュースレターに関するご意見・ご希望等ありましたら、E-mail もしくは Fax で、気軽にご連絡ください。
3. 学会の年会費は8,000円です。会費納入は事業運用上、できるだけお早めにお願ひ申し上げます。当会から送付した払込取扱票を無くされた方は、下記の口座番号と加入者名を、郵便局備付の払込取扱票にご記入の上、納入してください。
4. 異動・転居された方は必ず事務局までお知らせください。宛先不明ですと、ニュースレター、学会誌をお届けすることができませんので、ご協力お願い申し上げます。
5. 会員数357名（令和2年8月31日現在）です。学会の活性化を一層はかるため、生殖看護に関心のある、お知り合いの方にぜひ入会をお誘いください。入会案内および入会申込書は学会ホームページからダウンロードできます。

#### 日本生殖看護学会

Japanese Society of Fertility Nursing: JSFN

〒152-8558 東京都目黒区東が丘2-5-1

東京医療保健大学内 朝澤宛

TEL 03-5779-5032（内線216）

E-mail: jsfn@thcu.ac.jp

ホームページ <http://jsin.umin.jp>

口座番号：00170-2-333413

加入者名：日本生殖看護学会

#### ●次号の原稿締切日

ニュースレター第58号の原稿締切日は、2021年1月25日（月）を予定しています。

会員の皆様にお知らせしたい情報などがございましたら、広報委員会（jsfn.koho@gmail.com）までご連絡ください。

#### ◆編集後記

COVID-19の感染拡大防止の観点から、今年度の日本生殖看護学会学術集会是本当に残念ながら中止となりました。その代わりにオンデマンド方式での生殖看護教育研修会（兼 不妊症看護認定看護師ポストコース）を2021年2月下旬より開催することになりました。詳細はこのニュースレターのp.5及び学会ホームページでご確認ください。会員の皆様だけでなく、多くの方々にとって有意義な機会となることを願っております！